

伸びゆく企業と車社会をつなぐ——。

令和7年12月1日発行
毎月1回1日発行 第59巻第12号 通巻699号

AARK

2025 December
Vol.699

12



公益社団法人 愛知県安全運転管理協議会

<https://www.1972-aakk.jp>
tel. 052-883-2110 fax. 052-883-3100

「わがまち」紹介！

～歴史、文化、ご当地グルメのある
魅力たくさんの稲沢市～

★稲沢安全運転管理協議会



稲沢市の合併



美濃路稲葉宿本陣跡



はだか祭り



カレーフェスティバル

稲沢市は、濃尾平野のほぼ中央に位置し、かつては尾張国の政治・文化の中心地として国衙が置かれていた歴史あるまちです。

江戸時代には、東海道と中山道を結ぶ美濃路の宿場町として大変にぎわっていたそうです。そのため市内各地には、織田信長公出生の地と考えられている勝幡城址、美濃路稲葉宿本陣跡等、歴史を今に伝える史跡や文化財が数多く残されています。

稲沢市は昭和三十三年に市制施行



し、今年の十一月一日に六十七周年を迎えました。

この間、平成十七年四月一日に稲沢市と旧祖父江町・旧平和町が合併し、人口約十三万人の新しい「稲沢市」が誕生し、現在に至っています。

稲沢と言えば、日本三大奇祭に数えられる「はだか祭」が有名です。正式名称は「儼追神事」と言います。今から約一二五〇年前、奈良時代の神護景雲元年（七六七年）称徳天皇の勅命によって全国の国分寺で悪疫退散の祈禱が行われた際、尾張国司が総社である尾張大國霊神社においても祈禱をしたことが始まりと今に伝えられています。

また、稲沢は「植木」のまちでもあります。そのルーツは鎌倉時代、矢合町国分寺の和尚さんが中国で学んだかんきつ苗の接木の技術を持ち帰り、農家に伝授したのが始まりと言われています。市の西に接する木曽川に

よって堆積された肥よくな土壌と温和な気候を生かし、植木や苗木の産地として発展し、現在も「いなざわ植木まつり」が開催されています。

さらに稲沢には、ご当地グルメとして「カレー」や「ぎんなん」があります。日本で初めて即席カレーを作ったのが市内の食品製造会社であり、即席カレー発祥の地としてフェスティバルを開催するなど、ご当地グルメとして「カレー」を広くアピールしています。「ぎんなん」は日本有数の生産量を誇り、「ぎんなん」のなるイチヨウの木は、厳しく吹きつける伊吹おろしを防ぐ防風林としての役割を果たしています。

長い歴史や文化、産業に加え、ご当地グルメのある稲沢市には、まだまだ魅力がたくさんあります。そんな稲沢市を是非訪れてみてください。

写真提供：稲沢市

●わがまち紹介	1	●秋の全国交通安全運動の実施結果	5	●警察からのお知らせ	12
●交通安全随想	2	●交通安全教育用DVDのご利用を!	9	●KYT(危険予知トレーニング)、編集雑誌	13
●贖いの日々	3	●今月の安全運転管理	10	●安全運転管理者講習日程表	14
●管理者登場	4	●広報資料	11		



交通安全

随想



交通評論家
矢橋 昇

思い遣りこそ、 平和の礎

今年は終戦八十年ということで、改めて
当時に思いを馳せ、あの忌まわしい戦争の
悲劇を二度と繰り返さぬための様々な活動
が行われた。意義深いことだったと思う。

特に、テレビの番組や各地の戦争に関す
る資料館の特別展示などを通して当時の映
像や貴重な資料に触れることが出来たの
は、戦争を知らない世代の人達だけではな
く、僅かながら当時を知る私のような年代
の者にとっても、初めて知る事柄も多く、
勉強になったし、記憶を正す良い機会にも
なった。

しかし、一方で、気になったのは、原爆の
被爆をはじめ、各地の空襲や沖縄での地上
戦、更には海外抑留など、先の戦争で日本
人が味わった苦難の歴史に焦点が当たる

一方で、なぜ、ああした戦争に踏み込んで
いつてしまったのか、どうしたら戦争を起
こさずに済んだのか、といった視点からの
検証や問題提起が少なかったような気がす
ることである。

国際情勢は複雑だから、簡単に、どちらが
正しく、どちらが間違っていたなどと言え
るものでないだろうが、あの戦争に関して
は、日本は被害を蒙っただけではなく、いく
つかの国の人達に様々な迷惑をかけたこと
も否定できない事実である筈だ。

大切なのは、二度と戦争を起こさない、戦
争に巻き込まれないことである。その為
は、戦争がもたらした悲惨な出来事を語り
継ぐことも、もちろん大切だが、なぜ、そう
した事態を招いたのか、なぜあの戦乱を防
げなかったのかを冷静に振り返ることこそ
肝要ではないだろうか。それを疎かにした
のでは、再び国際的な紛争に巻き込まれ、同
じ惨禍を繰り返す心配が拭えないと思うの
だ。

広島、原爆死没者慰霊碑に刻まれた『安
らかに眠って下さい。過ちは繰り返しま
せんから』という碑文を「存じ」思う。

自分の話で恐縮だが、私が、あの碑文を始
めて見たのは終戦の八年ほど後、高校の修
学旅行で広島を訪れた時だった。多分、あの
碑が建てられて間なしの頃だと思う。生徒
のほぼ全員の希望が一致して広島が修学旅
行先に選ばれた。どうしても慰霊に行きた

いという皆の気持ちが一致したからだ。

原爆ドームの悲惨な姿に皆、言葉を使い、
そして目にした慰霊碑の碑文。『過ちは繰り
返しませんが』という一節に胸を突かれ
たのは、私だけではなかったようだった。

「そうだったのか、あの戦争は、過ちだっ
たのか…」

その夜、旅館の部屋の雑魚寝の布団の上
に車座になり、この夜ばかりは枕投げなど
の悪ふざけもせず、遅くまで真剣に話し
合ったのを覚えている。

最初の十年、二十年は別として、戦争に敗
れたにもかかわらず日本は見事に生き返り、
繁栄を取り戻してきた。もちろん、それは、
ひとえに日本人の勤勉さ粘り強さに裏付け
られた努力の賜物だとは思いますが、同時に、激
動した当時の世界の潮流の中で、我が国が
多くの幸運に恵まれたことも確かだったと
思う。

その所為もあって、日本人は、きちんとあ
の戦争の総括をせぬまま過ごしてきたとい
うような気がしてならない。豊かであること
が当たり前であるかのような時代を過ごす
うちに、何か大切な反省や覚悟を置き忘れ
ているように思えてならないのである。『平
和ボケ』といった批判を受けたことがあっ
たのも、その所為ではないかと思う。

戦後八十年。先の戦争に関して今の時代
の人達には何の責任もないが、世界各地で
戦争の火種が絶えない今の時代に平和を貫
くために、今一度、当時、我が国が、どんな
『過ち』を犯したのかを見つめ直してみるこ
とは欠かせないような気がする。そして、二
度と戦争に巻き込まれることのない日本を
守り続けてほしいと願うばかりである。

戦争の悲惨さを語り継ぐことは、もちろ
ん大切だが、悲しみ嘆いているだけでは、次

なる戦争を防ぐことは難しい。これは、『交
通戦争』とも称される交通事故の防止につ
いても言えることだと思う。

悲惨な事故が起こると、多くの人が哀悼
の気持ちを示し、事故現場に花を供え祈り
を捧げる。皆、心優しいのである。

しかし、それだけでは、同様の事故の再発
を防ぐことは出来ないだろう。尊い犠牲に
報いる為にも、悲しみを抑えて事故の原因
をつぶさに検証し、すべての道路利用者が
同じ過ちを繰り返すことがない為の教訓と
して生かすことを怠ってはならないと思う
のだ。

国家間の小さな諍いや偶発的な小競り合
いが戦争に発展することが少なくないよう
だが、交通事故の多くも、ほんのちよつとし
たルール違反や安全配慮の手抜きが原因で
ある場合が多い。そうした間違いを犯さぬ
為には、不戦の誓い同様、決して事故は起こ
さぬという強い意志を貫くしか方法はない
と思うのだ。

戦争も交通事故も、レベルは違うが、相手
の立場を無視した身勝手な考え方や行動の
仕方が原因だと言って良いと思う。

それを防ぐ術はただ一つ、相手の立場も
気遣い、譲り合っていくことしかないだろ
う。

国家や民族間の対立となると、譲り合い
は、そう簡単ではないだろうが、交通の場合
は、容易いことである筈だ。

難しい国際情勢の中で、この八十年、平和
を保ち続けてきた日本である。交通戦争一
つ終わらせられない筈がない。互いを気遣
い合う優しさや規律正しさを大切に戦後八
十年目の今年を締めくくりに、より良き新た
な年を迎えたいものである。

あがな

贖いの日々

誤った責任感の末に

40代 自営業

私は2度の交通犯罪を起こし、市原刑務所で受刑中の身です。収監されるまでの経緯をお話します。

最初の交通犯罪は、私が自営で仕事を始めて半年余りが経ち、休日の夕暮れ時、食事をしようと車で外出した時でした。毎日仕事の移動で車を運転している為、安全運転の実践と意識を常に持ちハンドルを握っていました。その日は休日ということもあり、気の緩みがあったのかもしれません。

現場は幾度か通ったことのある舗装された田舎町の住宅街の道で、木々の生い茂る変則五差路を法定速度以下のスピードで直進した時でした。交差の多い左方を注視した後、視点を右方に移した時、車の右前方の避けられない距離に人影がありました。夕暮れと木々の影響で人の存在に気付かなかったのです。ブレーキを踏む間もなく人と接触。フロントガラスはクモの巣状になり、急ブレーキで車を停車させ、被害者様の救護をし、警察救急へ電話、再び救護に当たり、声掛けを続けま

した。被害者様は虚な目で「大丈夫だよ」と何度も繰り返して口にして、その様子を目の当たりにした私は、大きな後悔と共に必死に声を掛けていました。

救急車が到着し、被害者様を乗せて去った後、警察が到着し、私は現行犯逮捕されました。警察署で調べの最中に被害者様が亡くなられたことを知らされましたが、私は「人を殺した」という実感が持てず、その後の取り調べや留置場にいる間は無心でした。思い返すと、パニックで喜怒哀楽がなくなっていたのかもしれない。翌日に釈放され、自宅で一人になった時、今までの出来事や事実が徐々に押し寄せてきて、後悔しても、し尽くせない取り返しのできない事をした……、何度もう度も解決のしない問答を繰り返していました。

その後、私は御遺族に謝罪の手紙を出し、一度接見をしました。親族全員を交えた場で話をしてほしい」との希望があり、日を改めて親族全員が揃った場を準備していた

だき、私はその場で改めて謝罪をしました。

「遺族の皆様からは「絶対に許さない」、「今日を以て、二度とあなたと会わない」など、大変厳しいお言葉をいただきました。私自身今後どうすればよいのか、どうなっていくのかわからないまま時が経ち、行政処分（運転免許失格及び免許取得欠格期間1年）、刑事裁判（罪名：自動車運転過失致死、判決：禁錮1年6月、執行猶予3年）、民事裁判を終えました。

しかし、私は再び交通犯罪を起します。仕事が軌道に乗り始めた頃に、先の事故を起こした為、車が運転できない事は死活問題でした。仕事を廃業するわけにはいかないと責任感から、仕事を継続する手段として、知人たちに手を借りて運転手を担ってもらったことができた為、仕事を再開していました。それが1年経ち、免許取得欠格期間も明けた頃から仕事が忙しくなり、運転手の手配が困難な時に、元々運転免許を持っていたという誤った考えと、仕事を止めるわけにはいかないと責任感で私は無免許運転を始めます。この日以降、運転手を手配しつつ、時々無免許運転をしていました。ある日の運転中に仕事の折

り返しの電話であらう着信を、相手の方に失礼にならないようにという責任感で受け、通話終了直後の信号停車時に警察官に現行犯逮捕されました。

人生で2度も警察署で取調べと留置を経験し、自分の愚かさを大変恥じ、幸いにも最初の留置裁判で釈放されましたが、親や兄、姉からは厳しく責められ、私を信頼していた人達を裏切った後悔が募りました。後に刑事裁判（罪名：無免許運転、携帯電話所持運転で懲役7月が言い渡され、程なく収監のため、出頭することになります。

以上が収監までの出来事です。受刑生活は、自身の行いに対する反省の日々です。責任感とは名ばかりの、自分の勝手な理由や動機で交通違反を犯し、自身の不注意で人命を奪ってしまいました。出所後も、親や兄、姉、知人達への信頼回復や購罪と共に、被害者様への謝罪を生していきます。

運転する前に大切な事の確認：自身の立場や責任と一緒に確認し、身勝手な運転がなくなることの切に願います。

（注）（財）交通安全協会発行「贖いの日々」から転載。
・無断転載禁止・二次使用禁止

管理者 登場

(稲沢安全運転管理協議会)

株式会社TMW

稲沢市奥田大沢町27番地

代表取締役社長

立松 宏樹 氏

安全管理責任者

尾島 克則 氏



安全運転管理者

鹿島 孝弘 氏

●従業員数 107名
●管理車両 11台

現場力で築く「ゼロ事故」の文化ー技術と心の安全運転

◆会社概要

株式会社TMWは、自動車内外装用金型を主軸に、モノづくりのインフラを支える企業です。

金型の設計・製造を基盤に、付帯設備・機械の販売、成形技術の提供、ソリューション提案など、幅広い事業を展開しています。



月次発表



啓発活動



街頭立哨活動

当社は「Beyond the Integral」を「アバリュ」に掲げ、単なる物の供給にとどまらず、付加価値を創造し、お客様にとって「なくてはならない存在」を目指しています。技術力と品質へのこだわりを軸に、環境への配慮と安全文化を重視し、未来のモノづくりを支える企業として挑戦を続けています。

◆安全運転管理者の取組

安全運転管理者(鹿島孝弘)は、長年運輸業務に携わり、大型・大型特殊けん引免許を持つベテランです。その豊富な運転経験を活かし、車両整備や点検体制の強化、教育に尽力しています。運転経験があるからこそ危険個所を事前に予測し、予防策を講じ、ヒヤリハットを未然に防ぐ改善提案を積極的に実施。構内運行時のルール作りなど、現場視点で安全な環境を整えています。「ハンドルを握ることは、命を握ること」——この言葉を胸に、安全を守り続けています。

◆委員会活動と社内文化

安全管理責任者(尾島克則)が主導する安全衛生委員会・安全衛生推進委員会の活動は、年次計画に基づき、月ごとの重点テーマを設定。ヒヤリハット事例を収集し、即時是正する仕組みを整えています。改善事例は社内でも共有し、再発防止につなげることで、現場の安全意識を高めています。

さらに、毎月、全社員に向けて安全の問題点や改善策を共有し、呼び掛けを継続。「安全は自分事」という意識付けを促し、社員が自ら考え、行動できる環境を整えています。

これまで培ってきた安全文化を次世代へ継続的につなぎ、社員一人ひとりが主体的に安全を考える風土をつくり、交通安全啓発活動や「コミュニティ」の連携を深めながら、企業としての責任を果たしていきたいと思っています。

◆地域社会への貢献

委員会メンバーは年二回、街頭に立ち、安全運転とあいさつの啓発活動を実施しています。ドライバーだけでなく、歩行者や地域住民との「コミュニケーション」を通じて安全な環境へ貢献しています。この活動は、活動している委員メンバー自身の安全への意識を高めると共に地域との信頼関係を深め、企業としての社会的責任を果たす重要な機会となっています。

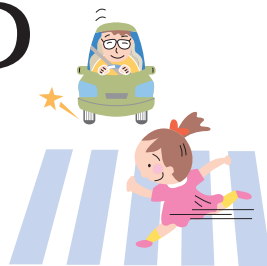
◆今後の取組

毎年、稲沢警察署の方をお迎えし、安全講話を開催。最新の交通安全情報や事故事例を学び、社員全員が安全意識を高める機会を得ています。こうした活動を継続していき「ゼロ事故」を目指す企業文化をより確固たるものにしていきます。

これまで培ってきた安全文化を次世代へ継続的につなぎ、社員一人ひとりが主体的に安全を考える風土をつくり、交通安全啓発活動や「コミュニティ」の連携を深めながら、企業としての責任を果たしていきたいと思っています。

2025
年

秋の全国交通安全運動の実施結果



9月21日(日)から9月30日(火)までの10日間、交通安全運動が行われました。
各地区から報告のあった実施結果の一部を紹介します。

▶ 運動重点

- 歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進
- ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進
- 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進

南

高校とタイアップした自転車ヘルメット着用促進及び安全利用のキャンペーン



西

音楽隊の演奏とチラシ配布による啓発



愛知県

知事、BOYS AND MEN、幼稚園児らが夕暮れ時の早めのライト点灯を呼び掛け



港

保育園児らによる交通安全啓発活動



中村

お笑いコンビ「キャー」の天野ひろゆきさんを一日警察署長に迎え、横断歩道の正しい渡り方を呼び掛け



北

県トラック協会北分会、安協会員らによる国道41号線での立哨活動と(株)平安閣従業員による立哨活動



緑

高齢者を交通事故から守ろうキャンペーンとこども警察官による自転車ヘルメットをかぶってねキャンペーンなど



瑞穂

プロバスケットボールの須田侑太郎選手を一日警察署長に迎え、自転車安全利用(ヘルメット着用、びたとと停止、安全確認)のスリーポイント交通安全教室



西

県トラック協会名西会、タクシー二十日会、山崎製パン(株)職員らによる出発式



● 秋の全国交通安全運動の実施結果

一 宮

駅前キャンペーンと尾北パトロール隊による啓発



春日井

歩行者保護及び全席シートベルト着用キャンペーン



天 白

自転車乗車用ヘルメット着用促進と
乱横断防止のキャンペーン



一 宮

子供の見守り及び歩行者保護活動



小 牧

タレントの須田亜香里さんを小牧警察署長に迎え
「交通ルールを知る子は事故起こさず」キャンペーン



守 山

小幡緑地公園でガチャガチャ(カプセルトイ)を
利用した反射材配布など交通安全キャンペーン



稲 沢

祖父江商工会会員らによるライト・オン関所と
高校生に対する自転車反則制度等の啓発活動



江 南

地域団体による飲酒運転防止と保育園児による
早めのライト点灯のキャンペーン



瀬 戸

官民一体となった立哨活動



津 島

交通安全アンバサダーらによる街頭啓発と立哨活動



犬 山

シートベルト・チャイルドシート全席着用関所



春日井

反射材着用及び自転車安全利用キャンペーン



● 秋の全国交通安全運動の実施結果

西 尾

日比野工業(株)及びシルバー人材センター
会員らによる交通安全立哨



刈 谷

甘党男子によるSMILE SWEET SAFETYを
お届けキャンペーン



蟹 江

実業団ランナーと園児による反射材普及キャンペーン



岡 崎

フタバ産業(株)80周年記念イベントでの啓発



刈 谷

トヨタ紡織(株)陸上部員を一日警察官に迎え、車も
自転車も停止線でびたっと止マロン キャンペーン



半 田

(株)デンソー阿久比製作所をはじめとする
近隣事業所従業員ら総勢80名による立哨活動



岡 崎

JAあいち三河 憩の農園
～柿「カチ」っとベルト、ピカッと反射キャンペーン



碧 南 高 浜

交通安全アンバサダーキャンペーン



東 海

東海市出身の俳優「山本圭祐」さんを
一日東海警察署長に迎え交通安全啓発



岡 崎

小原建設(株)・三島学区まちづくり協議会会員らによる街頭啓発



安 城 知 立

地元の特産品のいちじくを使用したバウムクーヘン「いちじく停止
(一時停止)で事故ゼロ」のシールを貼付)を配布しながら交通安全を呼び掛け



知 多

飲酒運転根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯キャンペーン



● 秋の全国交通安全運動の実施結果

豊 橋

豊橋総合自動車学校において運転適性診断とライダースクールの開催



新 城

しんしろ軽トラ市にて交通安全フェスタを開催



岡 崎

「ちびっ子警官」交通安全キャンペーンと「無塩のナッツで事故と無縁！」キャンペーン



豊 橋

藤城建設(株)における啓発と街頭活動



豊 川

出発式と一斉大監視



豊 田

ヤングドライバーセーフティ(YDS)推進委員会による啓発活動とダンプカーを使用した交通安全教室



田 原

官民一体となった啓発活動



蒲 郡

タレントの白井奈津さんを一日蒲郡警察署長に迎え、街頭キャンペーン



足 助

愛知県足助・岐阜県恵那・長野県飯田合同で「車はキウイ(果物キウイ)に止められない、運転マナーアップル(リンゴ)で事故ナシ(梨)」入りの啓発品を配布しての交通安全キャンペーン



高 速 隊

幼稚園児らによる「ヘルシーとまと」作戦



豊 橋

出発式



設 楽

国道257号沿い設楽警察署前に赤と緑のシタラレンジャーのカカシと交通事故に注意を呼び掛ける看板を設置





交通安全教育用 DVDのご利用を!

(公社)愛知県安全運転管理協議会では、会員の皆様に交通安全教育用DVDの貸出しを行っておりますので、ご利用ください。

※貸出しは無料ですが、送料は往復ともご負担ください。

貸出期間は、最長一週間です。

※事前に電話でご予約ください。

申込先

名古屋市中区上町二番一五号
愛知県高辻センター階
(公社)愛知県安全運転管理協議会
TEL(052)883-2210

交通安全教育用DVD一覧表

令和6年度購入

貸出番号	タイトル	時間	種類	内容
253	ドライバーは交通強者!その自覚が命を守る ～高齢者・子供・自転車の予想外の動きへの対応～	17分	DVD	ドライバーが歩行者、特に高齢者や子供をどうすれば守ることができるのか、また、自転車との事故をどうすれば防ぐことができるのかを、ドライブレコーダーの映像を交えながら、そのポイントを学んでいきます。
254	運転中の「ながらスマホ」 たった数秒が人生を狂わせる!	24分	DVD	「ながらスマホ」による事故が2事例収録されており、「なぜ事故は起きたのか」「ながらスマホの危険性と防止策」についての解説と、専門家による事業所がとるべき対策を解説しています。(「ながらスマホ」により追突するドライレコ映像収録)
255	「ながらスマホ」の危険性に迫る ～一生の後悔を生まないために～	23分	DVD	自動車運転中の「ながらスマホ」について、事故が発生する場所やその危険性、人間の視野と脳の動きという三つの視点から解説し、「ながらスマホ」により死亡事故を起こしたドライバーの証言をもとに、私たちが心がける運転について提案しています。
256	リスクを認識し、行動変容に繋げる 教養動画集	一編 (7分程度) 10編	DVD	夜間の歩行者との事故など多発事故10類型について、一編ごとにドライブレコーダー映像をもとに愛知県警察交通安全サポーター上西一美氏がその原因等を解説し安全運転を提案しています。

令和5年度購入

貸出番号	タイトル	時間	種類	内容
248	交差点事故多発の「なぜ?」 ～死角に隠れた危険を予測する～	19分	DVD	ドライブレコーダーの衝突場面映像により、交差点の中で具体的にどのような死角があるのか、どうすれば事故を回避できるのか再確認し、事故防止を訴えます。
249	ゼロ!飲酒運転 正しい知識で計画飲酒	24分	DVD	飲酒運転事故防止のために、ドライバー本人に求められる意識、周囲の人に求められる責任及び企業に求められる対応(アルコールチェックの徹底とアルコール依存者の早期発見)などを再確認します。
250	危険!迷惑!みつともない!NG運転ありがち7選 人のふり見て 我がふり直せ	19分	DVD	「あんちゃん乗り」「手のひらハンドル」及び「不適切ウイカー」など、ドライバーにありがちな7つの運転行動を「NG運転」として取り上げ、その危険性や周囲への迷惑を説明しています。
251	ぼくが渡った信号は青だったよ 交差点での歩行者・自転車事故を防ぐために	19分	DVD	交差点事故の遺族への取材を通し事故の恐ろしさと命の大切さを訴えています。ドライブレコーダーが捉えた歩行者や自転車との事故を通して、基本的な交通ルールとともに事故防止のポイントを解説しています。
252	その時試される! あなたの危険予知～無事故の秘訣4カ条～	22分	DVD	危険予知訓練(KYT)をベースに、ドライブレコーダー映像を通して危険予知センスを磨くための秘訣を解説しています。英語・中国語字幕付

令和4年度購入 (一部掲載)

貸出番号	タイトル	時間	種類	内容
244	わが子の命を奪った飲酒運転 息子を亡くした母の思い	21分(本編) 8分(解説)	DVD	2011年2月福岡県粕屋町で発生した飲酒運転事故により、息子さんを亡くした母、山本美也さんが「飲酒運転撲滅活動」に取り組み姿に密着したドキュメンタリー作品です。(株)ディ・クリエイティブ代表上西一美様寄贈
245	ココからはじまる!安全運転 (自転車交通安全教育用)	13分	DVD	自転車乗車中の「ながらスマホ」や「一時停止無視」により起きた自動車・歩行者との衝突事故2件を漫画で解説します。 ※英・中・ポルトガル語言語選択可能 愛知県県民安全課交通安全グループ寄贈
246	こうして潰せ! ヒューマンエラー 心の死角が事故を呼ぶ(令和5年度講習用)	20分	DVD	ヒューマンエラーが招く事故を「急ぎの心理」「手抜きと省略」「疲労」の3つに分類し、ドライバー本人だけでなく管理者や企業としてできる対策について分かりやすく説明しています。
247	企業の事故パターンから学ぶ事故防止対策 ～リスクに合わせた運転習慣から～	24分	DVD	企業の社有車の交通事故を「発生頻度の高い事故」と「人命にかかわる・損害の大きい事故」に分け、ドライブレコーダーの映像や事故事例のイラストを使いその防止対策について分かりやすく解説しています。

DVD一覧はホームページでご覧いただけます。 <https://www.1972-aakk.jp>

知って実践! 飲酒運転根絶!

①飲酒運転根絶を推進しよう

- 講習を通して飲酒運転の危険を周知しよう
- 家族へ飲酒運転根絶を働きかけよう

②年末の交通安全県民運動 【12月1日(月)～10日(水)】

※県内一斉大監視 12月5日(金) 午後4時～午後6時

- 安全確認の徹底を呼び掛けよう



講習を通して

飲酒運転の危険を

周知しよう

昨年県内では、一三八件の飲酒運転による人身事故が発生しており、いまだに根絶には至っていません。

これから年末年始にかけては飲酒する機会が増えることから、飲酒運転根絶の意識づけを行う必要があります。

そこで、飲酒運転根絶をテーマにした講習を行い、年末年始の飲酒運転根絶を図りましょう。

講習では、少量のアルコールでも運転に必要な「認知」「判断」「操作」に影響を及ぼし、

- 速度超過
- 一時不停止や信号無視
- 車間距離の誤判断
- ハンドルやブレーキの操作ミス

といった事故につながる危険な行動をしてしまうことを周知

知しておきましょう。

また、視聴覚教材や冊子なども活用して、飲酒運転に対する厳しい罰則をはじめ、その後の悲惨な末路を紹介するなど、安易な飲酒運転が人生を大きく狂わすことを理解させておきましょう。

家族へ飲酒運転根絶を

働きかけよう

飲酒運転根絶を推進するには、従業員だけではなく、その家族の役割も大切になります。そこで、従業員の家族へ飲酒運転根絶の協力を呼び掛けましょう。

ある事業所では、家族に飲酒運転根絶の資料を配付するとともに、節度ある飲酒や出勤前のアルコールチェックに協力を求めています。

こうした活動のほかにも、食事の際に家族で飲酒運転について話題にすることも効果的です。

事業所だけではなく、従業員の家族を巻き込んで、職場と家庭の両輪で飲酒運転根絶を進めてください。

安全確認の徹底を

呼び掛けよう

年末は業務が多忙になることから気持ち焦り、安全確認が疎かになりがちです。

そこで交差点を通過するときの安全確認の徹底を指導しておきましょう。

とくに、見通しの悪い交差点を通過する際、「交差点から何も出てこないだろう」と、安易に通過しようとするとうる合頭事故の危険があります。たとえ優先道路を走行しているときでも安全確認をしっかり行うよう指導してください。

安全確認の徹底で年末を無事故・無違反で乗り切り、気持ちよく新年を迎えましょう。

業務中の交通事故防止

今年も残すところ、一か月余りとなりました。年末は経済活動の活性化などにより、人流や物流が変動して、交通量をはじめ道路状況の変化も予想されます。事業所では、安全運転管理者を中心に運転者に対する安全運転管理を徹底されていますが、年末年始は業務多忙による疲労などから集中力や注意力が散漫となり、交通事故の危険性が高まります。朝礼や点呼等で従業員の健康状態等を確認するとともに、安全を最優先にした運行計画の作成をお願いします。ドライバーの方は、交通ルールを遵守し、時間と心にゆとりを持った安全運転をお願いします。特に、長距離の運転前は、あらかじめ休憩場所を確認し、体調不良時は運転を中止するなど、疲労などによる漫然運転を防止しましょう。

また、日没が早いこの時期は、視認性が悪くなることで、歩行者や自転車利用者の発見遅れによる交通事故が増加傾向にあるため、ドライ

バーに対しては、早めのライト点灯の指導をお願いします。先行車や対向車がいる場合を除いては、走行用前照灯であるハイビームを積極的に活用し、歩行者や自転車利用者を早期に見しましょう。さらに、気温の低下に伴う路面凍結や雨天時のスリップにも十分気をつけてください。夜間、自車のライトと対向車のライトが重なることで、道路中央付近にいる歩行者や自転車利用者が見えなくなる、蒸発現象が発生することもあります。特に雨天時はこの現象が起きやすくなります。車間距離を十分に取り、普段より慎重に運転しましょう。

業務中に交通事故を起こすと、運転者だけでなく事業所の責任も問われかねません。寒さの厳しい季節ではありませんが、体調管理と安全運転管理の両立を実現し、交通事故の当事者とならず、無事に年を終えることができるよう安全な交通行動を実践しましょう。



警察本部交通総務課
柴田 莉沙

柴田さんの交通キャンペーン

●東海ラジオ セーフティ・メッセージ PM4:35・PM5:25

表紙写真

帽子の女

国吉 康雄 (1889~1933)

1906年、国吉康雄は労働移民として日本からアメリカへ渡りました。1910年代のニューヨークでは、セザンヌやマティスなどヨーロッパのモダンアートが紹介されており、学生だった国吉もその影響を受けていました。黒い帽子の女性を描いたこの作品にも、複数の視点から人体や風景を直線的に再構成するキュビスムの要素が見て取れます。画面右側の樹木は、左側にある草むらに比べると、不思議なほど小さく描かれています。伝統的な遠近法によらない、新しい絵画空間が試みられているのです。国吉はその後、卒業した美術学校で教壇に立つなど、ニューヨークの美術界で指導的な立場を担っていくことになります。



(学芸員 塩津 青夏)

展覧会情報

◆「ゴッホ展 家族がつないだ画家の夢」

2026年1月3日(土)~3月23日(月)
ゴッホの弟テオの妻ヨハネは、画家の死後に作品を管理し手紙を出版するなど、正当な評価を得るために奔走しました。ゴッホ家のコレクションを所蔵するゴッホ美術館の名品をご紹介します。

◆同時開催 コレクション展

1920世紀のフランス美術
【休館日】1月5日(月)、1月19日(月)、2月2日(月)、2月16日(月)、3月22日(月)
【開館時間】10時~18時
(金曜日は20時まで
(入館は閉館30分前まで)

■愛知県美術館
〒461-8525
名古屋市中区東区東1-13-2
〔地下鉄東山線・名城線〕栄駅／名鉄瀬戸線
〔栄町〕駅下車、オアシス21連絡通路利用徒歩3分
TEL:052-971-5511(代)
FAX:052-971-5604
<https://www.art-aac.pref.aichi.jp/>



年末の交通安全県民運動

年末は、師走特有の慌ただしさから、運転者や自転車利用者、歩行者の注意力が散漫となります。そしてこの時期は、1年を通じて日没時刻が最も早くなり、夕暮れ時から日没後の時間帯と職場や学校等からの帰宅時間帯が重なることから、交通事故の危険性が高まります。さらに、忘年会等、飲酒の機会が増えることから、飲酒運転による交通事故の増加も懸念されます。

また、歩行者、自転車利用者の事故の中には、歩行者、自転車利用者側の法令違反が認められるケースがあり、交通ルール遵守の徹底が課題となっています。

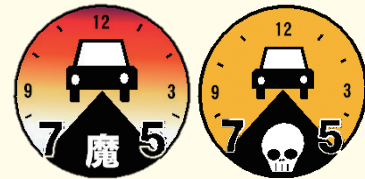
年末の交通安全県民運動

■実施期間

12月1日(月)から12月10日(水)までの10日間
(県内一斉大監視 12月5日(金)午後4時から午後6時までの間)

■運動重点

- 歩行者の安全な交通行動の実践
- 自転車等の安全利用及びヘルメット着用の徹底
- 運転者の安全運転意識の向上及び飲酒運転等の根絶



ゴーナナ
夕方の5～7は
“魔の時間”
～歩行者は反射材等を着用
ドライバーは早めのライトオン～

飲酒運転の根絶

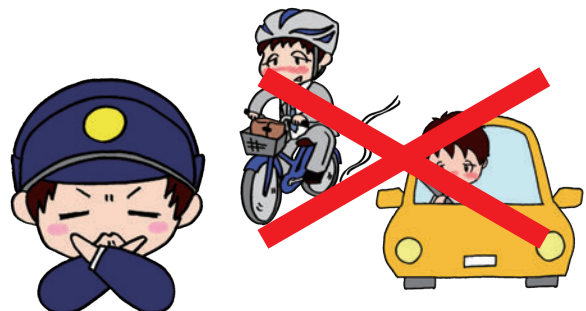
年末年始は、飲酒の機会が増えることから、飲酒運転による交通事故の発生が懸念されます。

飲酒運転は悪質・危険な犯罪です。

「1杯しか飲んでいないから。」「酒に強く酔っていないから。」「仮眠したから。」等と身勝手な理由で飲酒運転は正当化できません。

飲酒運転による交通事故を起こしてから、事の重大さに気づいて後悔しても手遅れです。

飲酒運転をしない・させない・許さないを徹底し、交通事故のない社会を実現させましょう。



お酒を飲んだら、
車も自転車も運転してはいけません!

KYT(危険予知トレーニング)



- どのような危険が予測されますか？
- どのような運転をすれば安全ですか？

状況説明

日中の閑散とした飲食店街の路地を走行しています。左側の駐車区間には駐車車両が並んでいます。

自車はこのまま進んでいきたいのですが……。

ドライバーとして

- イラストを見て、この運転場面に潜む危険要因を挙げてください。
- この場面での安全な運転方法について考えてください。

同乗者として

ドライバーにどのようなアドバイスをすればいいでしょうか。考えてください。

回答例

危険予知ポイント

- ①駐車車両の間から出てきた歩行者と衝突する。
- ②発進してきた車両と衝突する。

※駐車車両の間から出てくる歩行者を予測する

- ・駐車車両の間に歩行者がいます。漫然と運転していると、歩行者を見落とし衝突する危険があります。
- ・こうした場面では駐車車両の間から歩行者が出てくることを予測し、十分な安全確認を行いながら通過してください。

※発進してくる車に注意を払う

- ・駐車車両が自車の接近に気づかず発進してくると、衝突するおそれがあります。
- ・駐車車両の発進を予測しながら、その動静をしっかりと確認するとともに、いつでも止まれるよう速度を落として慎重に走行しましょう。

編集雑記

～「ただいま」の数～

『「行ってきます」と「ただいま」の声の数は同じでなくてはならない……』これは、警察署長Kさんの言葉である。

彼は、交通警察活動に長く携わり、数多くの失われた命、そして、ご家族の悲しみと向き合ってきたに違いない。ご家族を失った方々への思いが、その言葉に込められている。

本当にそう思う。交通事故で、「ただいま」の声が聞けなくなることなど、あってはならない。なのに、今日も交通事故は繰り返され、失われる理由などないはずの命が奪われている。

交通事故を起こしたドライバーの多くが、「避けられなかった」、「運が悪かった」などと供述するが、そんな甘えた言い訳を私たちは許してはならない。

避けられない事故など、ほとんど存在しない。事故を起こしたのは、避けるための注意力、安全意識が不足していたからである。

運が悪かったのではなく、悪かったのはドライバー自身である。

私たちは、自動車の便利さ、その快適さに甘え、安全に運転するという最初の約束を忘れてきたのではないか。

そして、交通事故の発生は、日常のありふれた出来事になった。交通死亡事故でさえ、前年との増減を比較するだけで議論を終えている。守られるべき命、それを増減だけで評価し、議論を終えることに対して、私たちは疑問を抱くこともなく、違和感も覚えない。

減らすことは大切だが、ある程度の交通事故は仕方がない、発生するのが当然だと、いつの間にかそう思い込んできたのではないか。

しかし、それは違う。そんな思い、そんな考えは間違っている。

人は生まれ、育ち、やがてその寿命を終える。それは人の定め、世の習いであるが、生まれてきたこの命を全うするためには、それなりの時間が必要である。

生まれて育ち、世の中を眺め、自分を省みる。そして、生きていること、誰かの役に立つことの大切さを知る。

かけがえのない命、すべての、ひとつひとつの命の大切さを知ることが、人として成長することであったように思う。そして今、それを守ることの大切さを思う。

家族の一人がいなくなる。それは、祖父母であり、両親であった。次は自分の番である。それは寂しさであるが、私たちが受け止めるべき寂しさである。その悲しさは乗り越えるべき悲しさである。

しかし、交通事故で人がいなくなることなど、私たちは認めてはならない。その寂しさ、悲しさを乗り越えることなど、誰にもできるはずがない。家族を交通事故で失った人の怒りは、加害者だけではなく、私たちの社会にも向けられている。

失われるはずのない大切な命が、防ぐことのできる交通事故で失われることを許してはいけいない。

止まるべき場所できちんと止まる、歩行者・自転車を守り、互いに譲り合う運転を続けること。それだけで、交通事故は半減し、交通死亡事故はほぼゼロになる。それは難行・苦行ではなく、誰にでも、今日からできることなのだ。

安全運転は誰にでもできる。私たちにできることをきちんと行うこと、それが安全運転の本質である。

私たちは命の大切さを知っている。ならば、安全運転の大切さを忘れてはならないはずである。

K署長の言葉どおり、「行ってきます」と「ただいま」の声の数は、いつも同じでなくてはならない。

一人ひとりが安全運転を習慣とすることで、「行ってきます」と「ただいま」の声の数は同じになる。

私たちは、私たちの社会は、命の大切さ、生きていることの大切さを、決して忘れてはならない。

AAKK 小

安全運転管理者等法定講習 日程表

12月及び令和8年1月～2月の安全運転管理者等法定講習会を、次のとおり実施します。

事前に法定講習通知が届きます。受講料として愛知県収入証紙を貼付した受講申請書を作成の上、副安全運転管理者が当日会場に持参し受講してください。

受講前には当協議会ホームページ(<https://www.1972-aakk.jp>)で確認してください。

12月 安全運転管理者

12月中の安全運転管理者講習はありません。

令和8年1月～2月 副安全運転管理者

(各会場とも 受付開始 正午 講習開始 12時30分)

指 定 署	月 日	場 所	
豊田・愛知・足助	1月13日(火)	豊田市民文化会館・大ホール	豊田市小坂町12丁目100番地
春日井・守山・瀬戸・小牧	1月21日(水)	春日井市民会館	春日井市鳥居松町5丁目44番地
千種・北・西・瑞穂 中川・名東・天白	1月22日(木)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール	名古屋市中区金山一丁目5番1号
中村・東・昭和 熱田・港・緑	1月26日(月)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール	名古屋市中区金山一丁目5番1号
刈谷・碧南・安城	1月27日(火)	刈谷市総合文化センター	刈谷市若松町2丁目104番地
岡崎・西尾	2月3日(火)	幸田町民会館	額田郡幸田町大字大草字丸山60番地
豊橋・設楽・新城 豊川・蒲郡・田原	2月5日(木)	ライフポートとよはし	豊橋市神野ふ頭町3番地の22
中	2月6日(金)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール	名古屋市中区金山一丁目5番1号
一宮・西枇杷島・江南 犬山・稲沢・津島・蟹江	2月17日(火)	名古屋文理大学文化フォーラム	稲沢市正明寺三丁目114番地
半田・東海・知多 常滑・中部空港	2月19日(木)	武豊町民会館	知多郡武豊町字大門田11番地
南(全署)	2月25日(水)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール	名古屋市中区金山一丁目5番1号
★南(全署)	2月25日(水)	Niterra日本特殊陶業市民会館・ビレッジホール	名古屋市中区金山一丁目5番1号

※各会場の駐車場は台数に制限がありますので、最寄りの公共交通機関等を利用してお出かけください。

★ 指定日以外・未受講講習会の方は、こちらで受講してください。

AAKK

December 2025 第59巻 第12号 通巻699号

愛知県警察本部交通部 協力

<https://www.1972-aakk.jp>

令和7年12月1日発行

編集発行人 ● 相羽 繁生

制 作 ● ダイナパック株式会社

発 行 所 ● 公益財団法人愛知県安全運転管理協議会

名古屋市中区錦三丁目14番15号

〒466-8566 名古屋市中区錦上町26番15号

TEL(052)883-2110 FAX(052)883-3100

※「iネット」登録パスワード(半角数字4文字)・・・「2110」

●転載する場合は、事前に発行所へ連絡してください。●内容についてのお問合せは発行所に連絡してください。